平成２６年３月２７日

記者発表

国土交通省　青森河川国道事務所

台風１８号洪水 治水対策進む

～岩木川　鶴田（つるた）地区と上中畑（かみなかはた）（三和（みわ））地区の堤防工事が完成しました～

平成２５年９月に岩木川で発生した台風１８号洪水において、「鶴田地区」では堤防から水があふれる被害が発生し、緊急対策として大型土のうを設置しておりましたが、平成２５年１１月に災害対策等緊急事業推進費が採択され、緊急堤防嵩上げ工事を進めてきました。

このたび、延長３８０ｍの堤防嵩上げ工事が完成しましたのでお知らせします。

また、弘前市の「上中畑（三和）地区」についても延長２８０ｍの堤防工事が完成しましたのでお知らせします。

これら工事の完成により、本格的な融雪出水を前に、治水安全度の向上が図られ、併せて鶴田町市街地及び弘前市三和地区の浸水被害の防止が図られます。

《記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社》

【問い合わせ先】

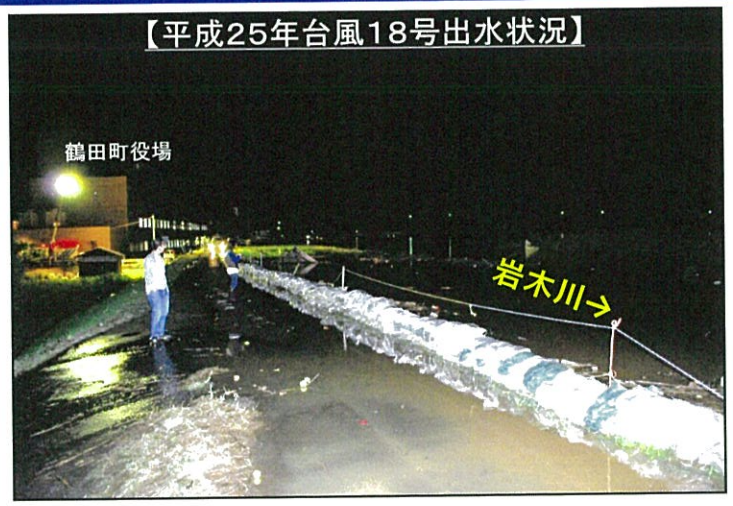
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所

副所長（河川担当）　砂子　勉　（内線２０４）

工務第一課長　　工藤　忠行（内線３１１）

TEL ０１７－７３４－４５２１（代表）

鶴田町（つるた）　鶴田地区の堤防嵩上げ工事が完成しました



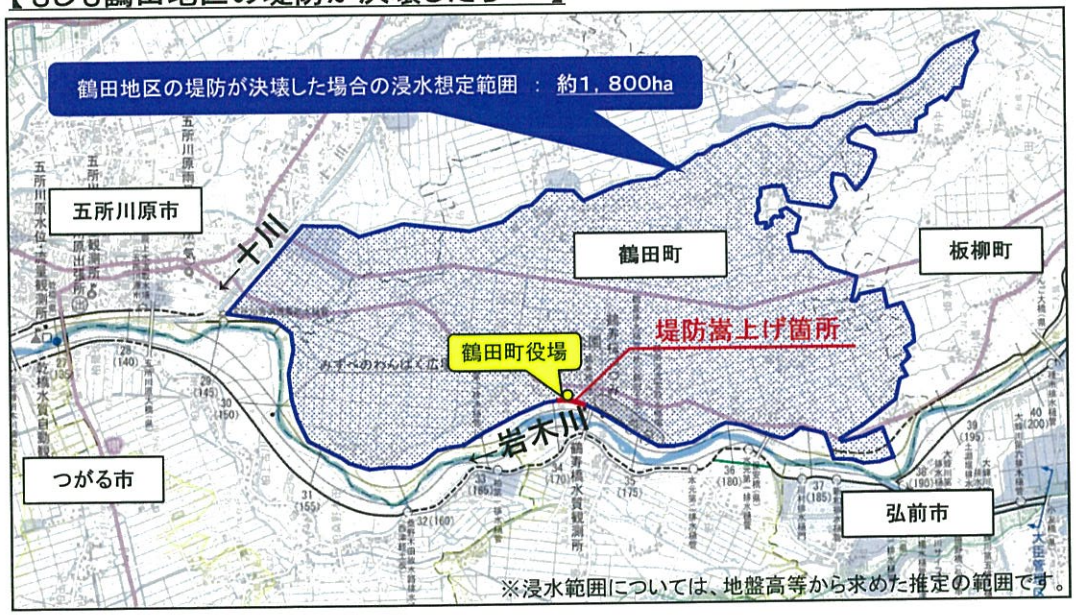
鶴田町（鶴田町役場付近）は、平成25年9月の台風18号出水において、岩木川の水位上昇により一部区間で堤防から水があふれ、土のう積みで決壊を防止しました。

このため、緊急対策として大型土のうを設置し、併せて災害対策等緊急事業推進費により、堤防嵩上げ工事を進めてきました。

このたび、当該地区の約380mの堤防嵩上げ工事が完成しました。

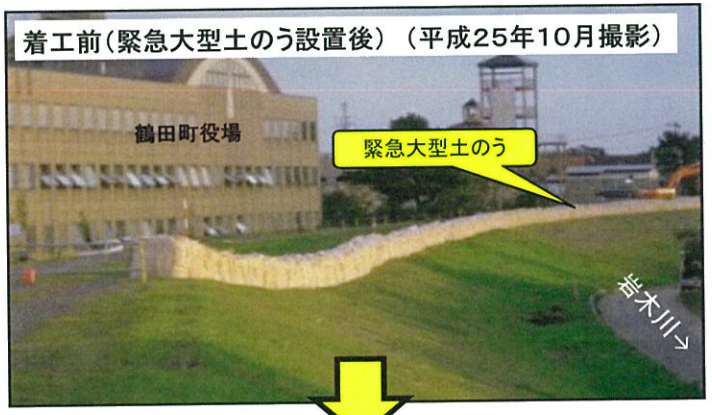
堤防嵩上げの完成により、浸水被害の防止が図られます。

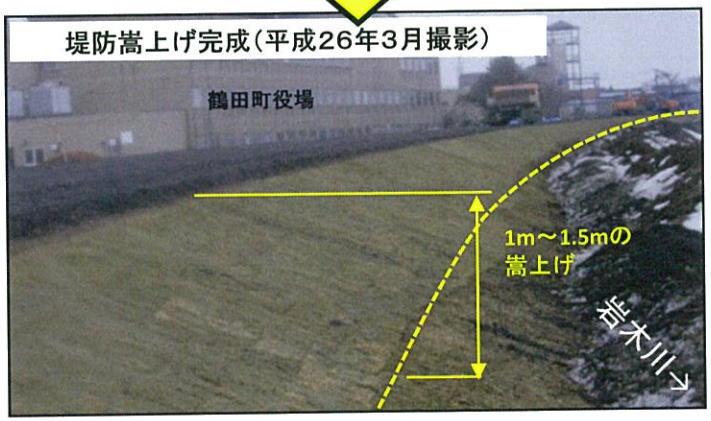
【もしも鶴田地区の堤防が決壊したら・・・】



台風18号洪水において、もしも鶴田地区の堤防が決壊した場合、その浸水被害は、鶴田町大性から五所川原市姥菟までの約1800haにも及んだものと想定されます。

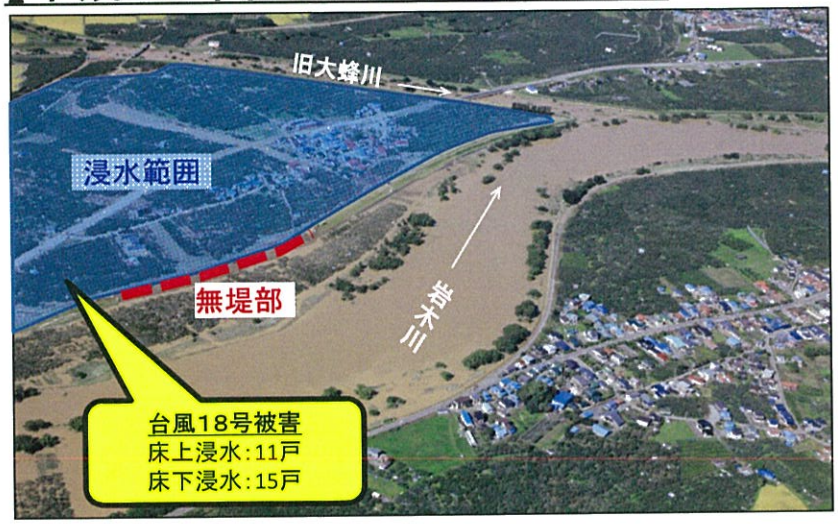
鶴田地区の堤防嵩上げ工事完成により、堤防が強化され浸水被害の防止が図られます。





弘前市　上中畑（三和）地区の堤防工事が完成しました

【平成25年台風18号出水状況】



弘前市の上中畑（三和）地区は、平成25年9月の台風18号出水において、岩木川の氾濫により、家屋浸水被害（床上浸水11戸、床下浸水15戸）が発生し、緊急対策として大型土のうを設置しながら堤防整備工事を実施しておりましたが、このたび、当該地区の約280mの堤防が完成しました。

堤防の完成により、浸水被害の防止が図られます。

【堤防整備の状況】

